

五中だより

鳳

学校教育目標／人間性豊かで、主体的に問題を解決する生徒の育成  
めざす生徒像／①心の豊かな生徒(徳) ②自ら考え実践する生徒(知)  
③健康でたくましい生徒(体)  
生活の3重点／「あいさつ」「無言清掃」「時間を守る」



第1号

令和8年4月10日

文責：教頭 茅野 正和

上田市立第五中学校 TEL 22-3076

学校HP <http://www.school.umic.jp/ueda5/>

〒386-0003 上田市上野441



PC・スマホ用QR

## 一学期始業式 4月6日 校長先生のお話

新2年生、新3年生の皆さん、進級おめでとうございます。学年が一つ上がり、皆さんは最上級生、そして後輩を導く先輩となります。今、心の中にある新鮮で引き締まった気持ちを、どうかこの一年大切にしてほしいと思います。

第五中学校が目指す大きな目標は、「人間性豊かで、主体的に問題を解決する生徒の育成」です。そのために、私たちは皆さんに「心の豊かな生徒」「自ら考え実践する生徒」「健康でたくましい生徒」として成長してほしいと願っています。

今年度、特に大切にしたい重点は「あたたかい五中」「+1の力の育成」「学力向上」の三つです。互いの存在を認め合いながら、それぞれの夢や目標に向かって、心も体も豊かに成長していきましょう。

### 「+1」の力を意識して

充実した学校生活を送るために、皆さんに意識してほしいのが「+1」の力です。誰かの指示を待つのではなく、自分から一歩踏み出す勇気をもつこと。授業で頭をフル回転させる、進んで挨拶をする、係や委員会での気づきを大切にしながら活動するなど、日々の小さな行動が「+1」につながります。

また、目標を達成するためには、仲間の存在が欠かせません。私たちは、顔も性格も得意なことも違います。しかし、違うからこそ新しい発見があり、人としての幅や深さが広がります。自分と異なる考えをもつ友人を否定するのではなく、「新たな発見」として楽しんでください。それこそが本当の学びであり、人間性を豊かにする経験です。

### 1年後の自分へ

一年後、「第五中学校で仲間とともに学び、成長できて本当によかった」と思えるように、先生方も皆さんの歩みを全力で応援します。新しい一年が、皆さんにとって実り多いものになることを願っています。

4月6日(月) 午後 入学式を行いました。



# 令和8年度 第66回入学式式辞

温かな陽ざしが、春の心地よさを伝える今日、日頃より地域で温かく見守っていただいておりますご来賓の皆様ご臨席のもと、保護者の皆様と共に、入学式を挙行できますことに心からの感謝と御礼を申し上げます。

144名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございました。皆さんの入学を心からお待ちしていました。

中学校の制服に袖を通してここに座っている皆さん、今どんな気持ちですか？皆さんが今日身に纏っている少し大きめの制服は、これから始まる3年間の成長の証です。心も体もその制服にぴったりな、素敵な中学生になることを期待しています。

中学校生活のスタートにあたって、私から2つのことをお話しします。

1つ目は「今を大切に、自分ができるところを、本気になってやってみよう」ということです。中学校生活が始まる皆さんは、1年後、どんな自分になっていたと思いますか。3年後はどうでしょう。もっと先、10年後の自分は、なりたい自分になっているでしょうか。「意志あるところに道は開ける」という言葉があります。意志、つまり自分が願う気持ちがあれば、道はあるという意味です。どんな難しいことがあっても、自分の気持ち次第で道はどんどん開けていくということです。なりたい自分を想像し、それが具体的であればあるほど、頑張ることができます。そのためにも、今を大切に、自分ができるところを、本気になってやってください。

また、そうやって精一杯努力する人の周りには、必ず応援してくれる人がいます。そして、互いにエネルギーをもらいながら成長することができます。一人で頑張るのではなく、まわりの人と協力しながら、たくさんのご経験してください。

2つ目は「命を大切にすること」です。皆さんは今までの12年間、家族や地域の方、学校の先生方など、たくさんの人に見守られ、ここまで成長してきました。

そんな皆さんには、「幸せに生きる」という重要な役目があります。そのためには命が大切です。おもちゃやゲーム、電気製品などは、動かなくなったら電池を交換したり新しいものに買い替えたりすれば再生することができます。でも、ここにいる皆さん一人一人の命は、新しく手に入れたり、電池みたいに置き換えたりすることはできません。私たちは皆、幸せに生きる権利があり、互いの幸せや命を大事にしなければなりません。そのため、かけがえのないあなたの命、そしてここにいる仲間の命をどうか大切にしてください。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとう申し上げます。今日から3年間、皆様のご大切なお子様をお預かりし、教職員一同、精一杯教育活動に取り組んで参ります。学校と家庭がいつも手を携えていかれますよう、今後のご支援とご協力をお願いします。

結びに、新入生のこれからの中学校生活が、夢や希望の実現に向けた、充実した毎日になることを祈念して、式辞といたします。



令和8年4月6日 上田市立第五中学校長 山下 雅弘

## 新入生代表あいさつ

暖かな春の光に包まれ、私たちは今日、この上田市立第五中学校の門をくぐりました。

本日は、私たちのためにこのような立派な入学式を開いていただき、校長先生をはじめ先生方、ご来賓の皆様、そして保護者の皆様に、新入生一同、心より感謝申し上げます。

今年度より新しくなった制服に身を包み、この場に立つと、中学生としての第一歩をふみ出す喜びに胸が躍るとともに、身の引き締まる思いがいたします。

私たちは、これから始まる中学校に大きな期待を抱いています。中学校では、学習内容がより深く専門的になり、部活動や生徒会活動など、新しい挑戦もたくさん待っています。時には、立ち止まることもあるかもしれませんが、神科小学校をはじめ、それぞれの母校で学んだことを大切に、仲間と互いに励まし合い、協力しながら、充実した毎日を過ごしていきたいと考えています。

一日一日の経験を大切に、学習にも行事にも、何事にも本気で粘り強く取り組むことで、自分自身を大きく成長させていきたいです。まだまだ未熟な私たちですが、先生方、先輩方、温かいご指導をよろしくお願いいたします。

新入生一同、第五中学校の生徒であるという自覚と誇りを持ち、夢や目標に向かって日々努力し続けていきたいと思えます。

以上で、新入生代表の言葉といたします。

令和8年4月6日 新入生代表



新たに7名が加わり教職員47名で新年度をスタートしました。

## 個人情報のため不掲載

※保護者・地域に配布するものは掲載

## 保護者の皆様へ

- 本年度も本校には、SC（スクールカウンセラー）、心の教室相談員、特別支援教育支援員（3名）が配置されています。SCは生徒だけでなく、保護者の皆様も相談できますので、ご希望の方は担任または養護教諭までお申し出ください。
- 本校では、体罰やスクールハラスメント等の防止に努めています。その一環として、何か相談ごとがある時に、いつでも来室できるよう、校長室、職員室、保健室、学習支援室に「相談窓口」を設置しています。学校でも生徒に知らせていますが、悩みや相談がありましたら、各相談窓口に行くようご家庭でもお子さんにお話してください。職員にかかわる相談についても応じますので、校長または教頭にご連絡ください。
- 体育館建設に伴い、駐車場など、ご不便をおかけすることがあるかと思えます。ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

# 「チームで支えます！」（第五中学校の登校支援） ～ 一人一人の状況に応じた支援や居場所 ～



困ったな、どうしよう？

生徒

- ・授業がわからない
- ・友だちとうまくいかない
- ・学校が楽しくない など

保護者

- ・友だちと何かあったのかな
- ・学校に行きたがらない
- ・学校の宿題が大変そう など

まずは話しやすい先生に相談

学級担任  
学校の先生

・まずは話しやすい先生に相談してみましょう。親身になって相談にのり、問題を解決していくために一緒に考えてくれます。

顔笑みコーディネーター  
心の相談員

- ・相談した先生からの要望を受け相談にのってくれる先生です。
- ・登校できない場合には、担任とお家に伺い、生徒や保護者のお話を聞くこともできます。（横山先生 青沼先生）

保健室

- ・心身の悩みの相談に応じます。
- ・スクールカウンセリングの申し込み窓口になっています。（新海愛先生）

スクールカウンセリング（SC）

- ・月に数回、学校で1時間単位のカウンセリングを行います。保護者のカウンセリングも行っています。（齋藤先生）



個別支援で教室復帰を

学習支援室  
（校舎2階）

- ・学校で生活したいと考えている生徒が安心して学習や生活をしていく場所です。エネルギーをためて、教室復帰を目指す場所です。（横山先生・青沼先生）

相談室  
（校舎2階）

- ・相談や、話を聞いてほしい時などに利用し、面談できます。
- ・授業中の入室は担任等に許可をとりましょう。
- ・登校が安定しない生徒が、短期間安心して登校できる場所として利用できます。（青沼先生）

教室

- ・授業の中で困っている生徒の学習等のサポートをしてくれる先生がいます。（橋本先生 上塚先生 小宮山先生）
- ・個々の生徒の状況を把握し、個に応じた学習を教科担任とともに考えていきます。（新藤先生）

学級担任、学年職員等が、生徒や保護者の気持ちによりそい支え続けます

支援会議

本人、保護者、学級担任、教科担任、学年職員、進路支援コーディネーターなどで相談をします。（短時間、定期的、継続的に行います）

校外の機関と連携してサポート

市中間教室

- ・真田ふれあい教室（本原小となり）その他4カ所
- ・指導員の先生がそれぞれの進度に合わせて学習を進めます。登校下校時刻、学習内容は自分で決めることができ、登校日数にカウントされます。（月～金 9:00～15:30）

市教育相談所

- ・教育相談所では、さまざまな問題を一緒に考え、助言、指導していきます。上田市教育委員会 教育相談所（月～金 9:00～16:00）

スクールソーシャルワーカー（SSW）

- ・生徒や保護者との相談を通して、医療や福祉などの学校外の専門機関の支援を受けるためのお手伝いをします。家庭訪問をすることも可能です。

上田市教育委員会

- ・福祉課や関係機関と連携し、発達課題を含めた教育相談や登校援助指導を行います。問題事例解消に向け、指導・支援を行っています。

卒業後、将来への夢や希望をもって次のステップへ



